

5 受験票について

インターネット出願により登録した内容と、本学に届いた出願書類の内容が確認され、出願が受理されると、8月13日（月）23：59までにその旨をメールでお知らせすると同時に受験票PDFの印刷が可能になります。再度、インターネット出願ページにアクセスし、受験票のPDFを白色のA4用紙で印刷し、**当日必ず持参してください。**本学からの受験票の送付はありません。

※受験票PDFを印刷したら、受験者氏名等が出願した内容と相違ないか確認してください。万一記載に誤りがある場合には、下記まで連絡をしてください。

群馬大学理工学部 学務係 電話 0277 - 30 - 1040

6 選抜方法

(1) 化学・生物化学科

<p>求める 学生像</p>	<p>化学・生物化学分野に興味を持って、大学でより高度な知識・技術を習得することに強い意欲を有し、将来、国際的に活躍する技術者・研究者になることを目指す人</p>	
<p>選抜方法</p>	<p>選抜は、第1次選抜（出願時提出書類による審査）及び第2次選抜（第1次選抜合格者に対して行う試験等）により行い、大学入試センター試験は課しません。 最終合格者の判定は、第1次選抜及び第2次選抜の結果を総合して行います。ただし、第2次選抜の結果が著しく不良の場合は、前述にかかわらず不合格となることがあります。</p>	
	<p>第1次選抜</p>	<p>出願時に提出する下記書類により、化学・生物化学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>(1) 調査書</p> <p>(2) 志望理由書（様式1） 下記①②について記述してください（各400字程度、志願者自筆）。 ① 化学・生物化学科への進学を希望する理由 ② 大学卒業後の進路・将来の希望</p> <p>(3) 自己推薦書（様式2） これまでの活動や体験に基づいて、化学・生物化学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください（800字程度、志願者自筆）。 また、記載内容について客観的に証明できる資料【注】がある場合は、添付資料一覧に明記の上、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください）。 【注】証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p>
	<p>第2次選抜</p>	<p>第1次選抜の合格者に対して面接（個人面接、約25分、面接員複数、理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。）を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力などを総合的に評価します。なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。</p>

(2) 機械知能システム理工学科

<p>求める 学生像</p>	<p>大学での理工学の専門に通ずる基礎学力を有し、さらにこれらを基に新理論・新技術の開発にチャレンジしたい人</p>	
<p>選抜方法</p>	<p>選抜は、第1次選抜（出願時提出書類による審査）及び第2次選抜（第1次選抜合格者に対して行う試験等）により行い、大学入試センター試験は課しません。 最終合格者の判定は、第1次選抜及び第2次選抜の結果を総合して行います。ただし、第2次選抜の試験等のいずれかに著しく不良のものがあつた場合は、前述にかかわらず不合格となることがあります。</p>	
	<p>第1次 選 抜</p>	<p>出願時に提出する下記書類により、機械知能システム理工学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>(1) 調査書</p> <p>(2) 志望理由書（様式1） 下記①②について記述してください（各400字程度、志願者自筆）。 ① 機械知能システム理工学科への進学を希望する理由 ② 大学卒業後の進路・将来の希望</p> <p>(3) 自己推薦書（様式2） これまでの活動や体験に基づいて、機械知能システム理工学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください（800字程度、志願者自筆）。 また、記載内容について客観的に証明できる資料【注】がある場合は、添付資料一覧に明記の上、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください）。 【注】証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p>
	<p>第2次 選 抜</p>	<p>第1次選抜の合格者に対して、下記の試験等を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力などを総合的に評価します。</p> <p>(1) 面接（個人面接、15～20分、面接員複数、理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。） なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。</p> <p>(2) 小論文 課題は試験当日に提示します。</p>

(3) 環境創生理工学科

<p>求める 学生像</p>	<p>① 基礎となる化学工学を応用発展することで、持続的に発展する社会を実現するための新しい技術を開発していきたいと考えている好奇心旺盛な人</p> <p>② 人文・社会・自然科学・理工学の基礎を身に付け、地域の防災安全性の向上及び自然環境との調和を図りながら、より良い社会基盤を創生する意欲・希望に満ちた人</p> <p>③ 自学自習の精神を忘れずに新しい学問の修得に励み、協調性・積極性をもって課題に取り組み、問題解決に向けて努力を惜しまず、考え、行動できる人</p>	
<p>選抜方法</p>	<p>第1次 選 抜</p>	<p>選抜は、第1次選抜（出願時提出書類による審査）及び第2次選抜（第1次選抜合格者に対して行う試験等）により行い、大学入試センター試験は課しません。</p> <p>最終合格者の判定は、第1次選抜及び第2次選抜の結果を総合して行います。ただし、第2次選抜の結果が著しく不良の場合は、前述にかかわらず不合格となることがあります。</p> <p>出願時に提出する下記書類により、環境創生理工学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>(1) 調査書</p> <p>(2) 志望理由書（様式1） 下記①②について記述してください（各400字程度、志願者自筆）。</p> <p>① 環境創生理工学科への進学を希望する理由</p> <p>② 大学卒業後の進路・将来の希望</p> <p>(3) 自己推薦書（様式2） これまでの活動や体験に基づいて、環境創生理工学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください（800字程度、志願者自筆）。</p> <p>また、記載内容について客観的に証明できる資料【注】がある場合は、添付資料一覧に明記の上、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください）。</p> <p>【注】証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p> <p>第1次選抜の合格者に対して面接（個人面接、15～30分程度、面接員複数、理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。）を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力などを総合的に評価します。なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。</p>
	<p>第2次 選 抜</p>	

(4) 電子情報理工学科

<p>求 め る 学 生 像</p>	<p>① エレクトロニクスと情報科学に関する最先端の知識や技術を身に付け、それを自分の強みとして従来になく全く新しい技術や知識を生み出せる優秀な人 ② 安心安全で持続可能なユビキタス情報化社会の基盤を作り、世界に向けて発信していきたいと希望に燃える人 ③ 主体性があり、好奇心が旺盛で常に問題意識を持ち解決に向け自ら考え、行動を起こす意欲と能力を持つ人</p>				
<p>選 抜 方 法</p>	<p>選抜は、第1次選抜（出願時提出書類による審査）及び第2次選抜（第1次選抜合格者に対して行う試験等）により行い、大学入試センター試験は課しません。 最終合格者の判定は、第1次選抜及び第2次選抜の結果を総合して行います。ただし、第2次選抜の試験等のいずれかに著しく不良のものがあつた場合は、前述にかかわらず不合格となることがあります。</p> <table border="1" data-bbox="331 705 1409 1413"> <tr> <td data-bbox="331 705 483 1413"> <p>第1次 選 抜</p> </td> <td data-bbox="483 705 1409 1413"> <p>出願時に提出する下記書類により、電子情報理工学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>(1) 調査書 (2) 志望理由書（様式1） 下記①②について記述してください（各400字程度、志願者自筆）。 ① 電子情報理工学科への進学を希望する理由 ② 大学卒業後の進路・将来の希望 (3) 自己推薦書（様式2） これまでの活動や体験に基づいて、電子情報理工学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください（800字程度、志願者自筆）。 また、記載内容について客観的に証明できる資料【注】がある場合は、添付資料一覧に明記の上、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください）。 【注】証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1413 483 2040"> <p>第2次 選 抜</p> </td> <td data-bbox="483 1413 1409 2040"> <p>第1次選抜の合格者に対して、下記の試験等を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力などを総合的に評価します。</p> <p>(1) 面接（個人面接、約15分、面接員複数、理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。） なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。</p> <p>(2) プレゼンテーション 電子情報技術関連のこれまでの優れた活動や電子情報技術利用の新しいアイデア等の自己PRを、10分以内で行ってください。 プレゼンテーション用資料（片面印刷。図表を含めてA4用紙2枚以内で、資料が2枚の場合は1部ずつホチキスで留めること。）を5部作成し、試験当日に持参してください。 プレゼンテーションに使用できる物は、上記の持参したプレゼンテーション用資料のみとします。ただし、補足説明が必要な場合に限り、本学で用意するホワイトボードに手書きで板書することを認めます。</p> </td> </tr> </table>	<p>第1次 選 抜</p>	<p>出願時に提出する下記書類により、電子情報理工学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>(1) 調査書 (2) 志望理由書（様式1） 下記①②について記述してください（各400字程度、志願者自筆）。 ① 電子情報理工学科への進学を希望する理由 ② 大学卒業後の進路・将来の希望 (3) 自己推薦書（様式2） これまでの活動や体験に基づいて、電子情報理工学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください（800字程度、志願者自筆）。 また、記載内容について客観的に証明できる資料【注】がある場合は、添付資料一覧に明記の上、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください）。 【注】証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p>	<p>第2次 選 抜</p>	<p>第1次選抜の合格者に対して、下記の試験等を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力などを総合的に評価します。</p> <p>(1) 面接（個人面接、約15分、面接員複数、理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。） なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。</p> <p>(2) プレゼンテーション 電子情報技術関連のこれまでの優れた活動や電子情報技術利用の新しいアイデア等の自己PRを、10分以内で行ってください。 プレゼンテーション用資料（片面印刷。図表を含めてA4用紙2枚以内で、資料が2枚の場合は1部ずつホチキスで留めること。）を5部作成し、試験当日に持参してください。 プレゼンテーションに使用できる物は、上記の持参したプレゼンテーション用資料のみとします。ただし、補足説明が必要な場合に限り、本学で用意するホワイトボードに手書きで板書することを認めます。</p>
<p>第1次 選 抜</p>	<p>出願時に提出する下記書類により、電子情報理工学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>(1) 調査書 (2) 志望理由書（様式1） 下記①②について記述してください（各400字程度、志願者自筆）。 ① 電子情報理工学科への進学を希望する理由 ② 大学卒業後の進路・将来の希望 (3) 自己推薦書（様式2） これまでの活動や体験に基づいて、電子情報理工学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください（800字程度、志願者自筆）。 また、記載内容について客観的に証明できる資料【注】がある場合は、添付資料一覧に明記の上、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください）。 【注】証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p>				
<p>第2次 選 抜</p>	<p>第1次選抜の合格者に対して、下記の試験等を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力などを総合的に評価します。</p> <p>(1) 面接（個人面接、約15分、面接員複数、理工学教育を受けるための基礎能力に関する口頭試問を含みます。） なお、面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは合否には影響しません。</p> <p>(2) プレゼンテーション 電子情報技術関連のこれまでの優れた活動や電子情報技術利用の新しいアイデア等の自己PRを、10分以内で行ってください。 プレゼンテーション用資料（片面印刷。図表を含めてA4用紙2枚以内で、資料が2枚の場合は1部ずつホチキスで留めること。）を5部作成し、試験当日に持参してください。 プレゼンテーションに使用できる物は、上記の持参したプレゼンテーション用資料のみとします。ただし、補足説明が必要な場合に限り、本学で用意するホワイトボードに手書きで板書することを認めます。</p>				